

# 令和7年度 3年次生 学びのプラン

教科名	公民科	単位数 (コマ数)	2単位 (3コマ)	履修年次	3年次		
科目名	倫理	履修	必履修(選択)	開講	通年		
教科書	倫理(東京書籍)	副教材	最新図説 倫理(浜島書店)				
<b>1 学習の目標</b> (1) 青年期の課題と自己形成: 青年期の心理の特色を学び、自分の心についての理解を深めます。 (2) 古代から現代に至るまでの哲学: 多くの哲学者達の思想を学ぶことを通して、自らの生き方を考えていきます。							
<b>2 学習の方法</b> ・授業は教科書・副教材・プリントを主な教材として進めます。授業には集中して臨み、単に話を聞くだけではなく哲学などについてしっかりと理解した上で、自分なりの考えを創って欲しいと思います。 ・ただ語句を暗記するのではなく「その思想がどのような思想で他の思想とどう関連しているのか」や「その教えはどの用は背景で生まれ、どのような影響を与えているのか」など、「考える」ことが重要になる授業です。「丸暗記型」の授業の受け方では理解できません。 ・タブレットは必要に応じて使用を指示する場合がありますが、基本的には話に集中し、ノートやプリントに記入することを心がけてください。							
<b>3 評価について</b> <b>①評価の観点</b>							
知識・技能	先哲や宗教家などの古今東西の幅広い知的蓄積を身につけ、概念や理論について理解しているか。それらの知識から、現代の諸課題や人間としての在り方生き方を調べる技能を身につけているか。						
思考・判断・表現	身につけた知識を元に、自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するための倫理に関する概念などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、それを表現する力を身につけているか。						
主体的に学習に取り組む態度	授業で扱ったの事柄について主体的に追究したり、自ら心理や哲学・宗教などの理解を深めようとする態度や社会の一員として様々な課題について倫理的な視点から解決方法を考えようとしているか。						
<b>②評価の方法</b>							
観点	材料	定期 考査	ノート・ プリント	話し 合い	課題提出	授業態 度	評価方法
知識・技能		◎	○		○		左記のうち、定期考査を中心に日常の学習成果も加味してA・B・Cで評価する。「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、不十分なものCとする。
思考・判断・表現		◎	○	○	○		左記のうち、定期考査やレポート等での成果も加味してA・B・Cで評価する。「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、不十分なものCとする。
主体的に学習に取り組む態度		○	○	○	◎	◎	左記のうち、主に提出された課題取り組みの内容により評価する。問に対し十分に答えているものをA、やや不十分なものをB、不十分なものCとする。
<b>4 その他</b> ・ノート・プリントを中心に授業行う予定です。ノートやファイルなどを用意してください。 ・授業の進捗により年間計画が変更になる場合があります。							

5 単元の目標・評価						
単元名	青年期の課題と自己形成					
単元の目標	自らの体験などを振り返ることを通して、青年期の意義と課題を理解する。自己形成に向けて、他者と共に生きる自己の生き方について考える。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	青年期について理解し、人格の形成に生かす知識として身につけているか。青年期の意義と課題について、自己の体験を踏まえて理解することができるか。		青年期の意義と課題について、自分の生き方に関わる課題とつなげて、表現できるか。		古代ギリシア思想の基本的な考え方を比較し、それぞれの思想家の違いを適切に表現できるか。	
単元名	人間としての自覚【人間とは何か・ギリシャの思想】					
単元の目標	人生における哲学について理解し、人間の存在や価値に関わる基本的な課題について思索させることを通して、人間としての生き方・在り方について考える。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	古代ギリシアの思想を理解し、哲学的な思考について理解しているか。ソクラテス→プラトン→アリストテレスという思想の流れを理解しているか。		古代ギリシア思想の基本的な考え方を比較し、それぞれの思想家の違いを適切に表現できるか。		古代ギリシア思想の基本的な考え方を比較し、それぞれの思想家の違いを適切に表現できるか。	
単元名	人間としての自覚【世界三大宗教・中国の思想・芸術と人間】					
単元の目標	人生における宗教のもつ意義などについて理解し、人間の存在や価値に関わる基本的な課題について思索させることを通して、人間について考える。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	世界三大宗教を含めた、宗教の違いや共通点を理解しているか。宗教と人間の在り方がどうつながっているかを理解しているか。		各宗教の思想や概念を説明や論述などで表現できるか。		人生における宗教のもつ意義などに対する関心を高め、宗教と人間の関係について主体的に考えようとしているか。	

単元名	現代を生きる人間の倫理【西洋思想～人間の尊厳・民主社会と自由】					
単元の目標	先哲の思想を学び、人間の尊厳や民主社会における人間の在り方について、他者と共に生きる社会について考えを深める。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	近代思想のこの内容について理解しているか。近代の思想が、人間尊重、近代民主主義、資本主義などと深く関わっていることを理解しているか。		先哲などの考え方や生き方に関する知識を、思想家の専門用語などを説明しながら適切に表現できるか。		先哲の思想が、現代に生きる我々のもつ諸課題にかかわることに関心が高まっているか。	

単元名	現代を生きる人間の倫理【西洋思想～社会変革の倫理・新たな人間像】					
単元の目標	社会参加と奉仕、自己実現と幸福などについて、倫理的な見方や考え方を身に付け、他者と共に生きる自分の生き方に関わる課題として考えを深める。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	功利主義、社会主義、実存主義などについて、それらの諸思想が近代市民社会の問題をどのように克服しようとしたか、理解しているか。		先哲などの考え方や生き方に関する知識を、思想家の専門用語などを説明しながら適切に表現できるか。		先哲の思想が、現代に生きる我々のもつ諸課題にかかわることに関心が高まっているか。	

単元名	現代の課題を考える					
単元の目標	生命、家族、国際平和など倫理的課題を自己の課題とつなげて考えることのできる、論理的思考力や表現力を身に付ける。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	現代の倫理的諸課題について理解しているか。		現代の倫理的諸課題を、自分の課題とつなげて探究し、その過程や結果を適切に表現しているか。		現代の倫理的諸課題に対する関心を高め、それを自己として積極的に考えようとしているか。	

6		年間計画			
学期	月	単元	項目	予定時数	考查
前期	4	第1章 青年期の課題と自己形成	1節 青年期の意義 2節 青年期の課題と生き方	20	前期中間 考查
	5	第2章 人間としての自覚	1節 人間とは何か 2節 ギリシャの思想		
	6	第3章 国際社会に生きる日本人の自覚	3節 キリスト教 4節 イスラーム 5節 仏教 6節 中国の思想	30	前期期末 考查
	7		1節 日本人の精神風土 2節 仏教と日本人の思想形成 3節 儒教と日本人の思想形成 4節 国学の思想		
	8				
	9	第4章 現代を生きる人間の倫理	5節 庶民の思想 6節 西洋思想と日本人の近代化	40	後期中間 考查
10	第5章 現代の課題を考える	1節 人間の尊厳の根拠を 2節 民主社会と自由を求めて 3節 社会変革の倫理を求めて 4節 新たな人間像を求めて 5節 自然や科学技術と人間の関わり 6節 民主社会の成熟のために			
11	第5章 現代の課題を考える	1節 生命 2節 家族 3節 地域社会 4節 情報社会 5節 文化と宗教			
後期	12				後期期末 考查